

EAAワークショップ

東アジアから問う越境の方法

2022年11月29日 (火)

13:30-16:30

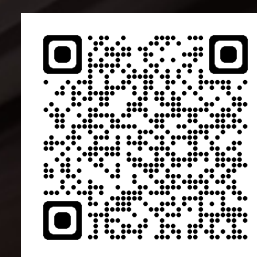
東京大学駒場キャンパス101号館11号室
(EAAセミナー室) & Zoom

※要事前登録

収容人数の都合上、会場参加は登録先着順15名とさせていただきます。



会場参加をご希望の方



Zoom参加をご希望の方

第1部

寺崎新一郎 (立命館大学)

「メイドイン・イメージから生じる認知や感情、行動のメカニズム」



小塚泰彦 (株式会社 morph transcreation)

「トランスクリエーションが拓く新しい『意味』の可能性」



戸矢理衣奈 (東京大学)

「生産技術研究所における「文理実融合」の展開」



第2部 総合討論

コメント 石井剛 (EAA副院長)

司会 片岡真伊 (EAA特任研究員)

複雑化・国際化する社会の中で越境するということはいかなることを意味し、その先には何が拓かれるのか。境界をこえるという行為に付き纏う諸問題、異なる言語・文化・価値体系間の実相、そして過去・現在におけるこれら乗り越える試みにはどのようなものがあるのか。

本ワークショップは、ヒト・モノ・コトの越境にかかわる研究・実務に携わる専門家たちを招聘し、越境の過去・現在・未来を読み解く様々な視点や、研究/現場で目にする実相を共有・議論することを目的とする。未来への手がかりとして越境にまつわる様々な問いをひらき、変化を生み出すことを目指す。